

# 私の主張

日本主婦連合会会長  
**東瀬 幸枝**

絶対に許せない  
欺き、騙したもの



戦争前、昭和10年頃、常高等小学校とか、まは国民学校とか、云々時代、たしか小学1年の教科書に「オオカミの話」が掲載されて

いたのを、思い出したのである。

それは、来る日も来る日も「オオカミが来たぞ」と叫んで、村の人たちを脅かした少年は、実際に「オオカミ」に襲われても、誰もが助けくれなかった。という、有名な「イソップ物語」の一話ではあるが、この物語の村人たちのように騙されたのは、我が「日本国」である。

その結果、シベリアなどに連行し、激しい労働に従事させられ、尊い命を失った日本の将兵さん、及び民間の人たち

騙され欺かれた  
◎日ソ中立条約の一方的破棄

それは、1945年、ソ連国がドイツのヒットラーを打破できたのは、日本国が忠実に「ソ連国との不可侵条約（中立条約）」を順守したからである。

しかるに、ソ連はその3か月後に「日ソ中立条約」を一方的に破棄して、我が日本を攻撃したのである。

いかに戦争とはいえ騙してまでも命を取るとは!!

その結果、シベリアなどに連行し、激しい労働に従事させられ、尊い命を失った日本の将兵さん、及び民間の人たち

## 外交は毅然たる態度が大前提

は、約60万人にもものぼっているのである。

◎北方4島は1875年、日露条約で日本領土

また北方4島も、スターリンのソ連が70年前、日ソ条約を一方的に破って、現在もなお、不法占拠したままの状態である。

◎「輝かしい日本の歴史・文化の再認識を示せ」

歴史認識については、竹島問題で韓国と、国境での石油掘削問題で中国と、そして靖国・教科書問題など、他に北朝鮮との間に、一歩も引けない拉致問題がある。

日本の歴史には、125代にわたり、ひとつの

皇室が連綿と続いてきた、君民一如の国体と保持し、世界に類を見ない、冠たる文化の伝統があり、特に、敗戦後の日本は平和を愛する国民の意識が昂揚されてきているではないか。

◎「日本国の平和に対する貢献度を大きく示せ」

日本政府は長い間、

◎「どここの国にもあるように総理の靖国参拝は当然」

また、いずれの国の元首にもあるように、総理の靖国参拝は、自国のために戦死した兵士たちを弔い、平和を願うのが当然なことではないのか。

教科書問題も然り!!日本人の心の問題であり、自国の問題でもある。

◎「内政干渉に屈するな!」

これらの内政干渉に、日本政府は決して動ずることはない。

まして、日中平和友好条約第一条には「内政に

◎「日本国の平和に対する貢献度を大きく示せ」

日本国は長い間、国に對しただけでも政開発援助(ODA)ど、そのほかにもアジ開発途上国に援助して

た、平和日本の現状を確に示すべきで、絶対に日本政府の土下座外は、あり得ない。

また日本国民の将軍のために、毅然たる態度大前提であることは、うまでもない。

◎「三国間の理解信頼に努力せよ」

この時を期して、日韓、三国の真の相互信頼と信頼を抜きにしてはアジア平和の構築を成得ないことを再認識し、もらいたい。

名誉ある日本歴史を再認識せよ!!